

Hakuju Hall ホールの建築計画について

株式会社竹中工務店 設計部

多田壯文

原宿から代々木公園沿いに坂を下ると、白寿ビルの白い外壁が視界に入ります。当ビルでは、“地域と環境への貢献”を目指し、ビルの足元には歩道や小広場、防災倉庫を設けて地域に提供しているほか、自然エネルギーの利用などの、環境に優しい新技術を導入しました。また、300 席の室内楽ホールを併設し、音楽を通じた“ゆとりある精神”の実現を目指しています。

ホールは、交通騒音を避け、眺望のすばらしい最上階に設置され、専用のシースルーエレベーターで直行します。このエレベーターの窓から、階段室のガラス越しに(株)白寿生科学研究所オフィスを垣間見ることができ、お客様と白寿とが自然に触れ合うことができるように計画されています。

ホワイエや屋上のスカイテラスからは、新宿超高層や代々木の森を一望でき、幕間のひとときをリフレッシュすることができます。ホールは、騒音・振動を防ぐ浮床構造。客席はリクライニング式で、お客様にリラクゼーションを提供します。楽屋 3 室と舞台袖間には演奏者専用エレベーターを、階段室には、大型機材・楽器搬入用の巻き上げ機を設置。舞台照明、AV 装置、ピュッフエサービス、バリアフリー施設も完備しています。防災面では、避難・耐火に関する新しい検証法を用い、安全には特に配慮しました。

Hakuju Hall の持つ“最上級の響き”、“斬新なインテリア”、“充実したホール機能”が、演奏者・聴衆双方から評価され、“健康と文化”の発信拠点として定着することを願っています。